

広報

ふじかわ

今月のみどころ

- ・町政バスを開催しました
- ・平成22年国勢調査
- ・大地震に備えて
- ・保育所運動会を開催します

平成22年9月号 No.6



大自然の中で親子で昼食
(8月5日、見よう!学ぼう!町政バス)

バスを開催しました！

進行～

親子で！



平成22年度

「見よう！学ぼう！町政バス」

日程

- ① 集合（役場本庁舎）出発式
（午前8:30～8:40）
- ② 役場本庁舎見学
（午前8:40～9:00）
- ③ 金手小林線見学
（午前9:10～9:30）
- ④ 増穂IC周辺見学
（午前9:40～10:00）
- ⑤ 保健福祉支援センター見学
（午前10:10～10:40）
- ⑥ ふるさと自然塾（見学・工作体験）
～ 昼食・散策 ～
（午前11:10～午後1:30）
- ⑦ 鰍沢児童センター建設地見学
（午後2:00～2:20）
- ⑧ （株）はくばく見学
（午後2:30～3:30）
- ⑨ 役場着（解散会）
（午後3:40～4:00）

8月5日（木）に、「見よう！学ぼう！町政バス」を開催しました。

当日は、猛暑の中、51名の参加者が富士川町役場本庁舎の見学を皮切りに、7カ所の町施設や工場の見学を行いました。

夏休みでもあり、小学生の親子での参加も多くみられ、参加者は熱心に町職員、工場担当者の説明を聞いていました。中には、夏休みの宿題の絵日記や作文、自由研究の題材にしてくれる子どもたちも見受けられました。

今後町では定期的に「見よう！学ぼう！町政バス」を開催していく予定です。次回は秋から冬にかけて開催予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。

町政バス、出発進行！



▶ 出発式で町政バス出発の合図をする望月優人君（五開区・鰍沢小5年）

町の仕事・事業を

▶ 議場も見学しました。

（役場本庁舎2階）



▶ 2班に分かれての見学

（役場本庁舎1階）



▶ 町長さんの席にすわっちゃった。

（役場本庁舎2階町長室）



▶ 熱心に舗装の構造や雨水の排水のしくみを質問していました。

（金手小林線）





見よう！学ぼう！町政

友人と！

出発

▶熱心にメモをとる参加者もいました。（保健福祉支援センター）



▶夏休みの宿題の工作にするのかな？真剣です。（ふるさと自然塾工作体験）



▶僕たちは駐車場で食べたよ。



▶鰺沢児童センターでの質問！「僕も使えますか？」



あらためて確認できました！

▶参加者は中部横断自動車道のルートが気になるようでした。（増穂IC周辺）



▶木材を使った工作体験（ふるさと自然塾）



▶涼しいからお弁当は桜池のベンチで食べたよ。（ふるさと自然塾桜池ほとり）



▶完成後は、児童保育室、学習室、図書スペース、つどいの広場、多目的ホール等として利用できます。（鰺沢児童センター）





◀ 親切丁寧に説明してくれました。



▶ 最後の見学地は(株)はくばくさんの工場でした



疲れて寝ちゃった。

▶ けがなく無事に、「見よう！学ぼう！町政バス」は終了しました。出発と同じく役場本庁舎に戻ってきました。解散会を行うときには、一日暑かったせいか、出発時に比べると参加者はハトハトな様子でした。



アンケート調査の結果

昼食の休憩時間や、解散会終了後、参加者にアンケート調査を実施しました。今後の「見よう！学ぼう！町政バス」の企画運営向上のため参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

○年齢は？

中学生未満	52%
30～39歳	16%
40～49歳	16%
50～59歳	2%
60～69歳	9%
70歳以上	5%

※夏休みでもあり、保護者と子どもの参加が多かったです。

○性別は？

男性	25%
女性	75%

※大多数が女性でした。

○開催時期はいかがでしたか？

良い	84%
悪い	16%

※夏休みで、保護者と子どもと一緒に参加できたことは良い時期だったと思われる。暑かったせいか涼しい時期の要望がありました。

○見学コースはいかがでしたか？

良い	100%
悪い	なし

○今後、このようなバス見学があった場合参加しますか？

参加する	90%
参加しない	10%

○今回の見学場所以外に見学してみたい施設や場所がありますか？

- ・つくたべかん、塩の華、鰻沢病院、かじかの湯
- ・大柳川溪谷
- ・森林研究所、ますほ児童館
- ・十谷、富士川舟運の歴史
- ・工場、官公署、仏舎利塔
- ・富士山

※今回は、増穂地区が多く鰻沢地区が少なかったが、次回は鰻沢地区を多く見学場所に取り入れます。

○その他のご意見、ご感想

- ・小学校低学年が多く、職員の説明が少し難しかったです。
- ・各施設クイズを出したら子どもたちも喜び、盛り上がったと思います。
- ・ハトバス気分でも楽しかったです。工作体験も子ども

と楽しくできました。職員や工場の方もとても親切でよかったです。

・改めていろいろな場所や施設を見学できました。金手小林線や増穂IC周辺がこんなに変わっていたことにびっくりしました。

・町の事業や仕事をわかりやすく説明していただき、参加して良かったと思います。

・子どもと一緒に参加ができ、何か作ったりすることは、この時期でないとできないのでとても有意義でした。

・子どもが多く参加するので、保健師の同行が可能ならよかったと思います。

・普段入れない場所や、知らなかった場所へ行かせて頂け、勉強になりました。

・合併して、町の様子を知らなくて参加しました。増穂IC周辺の開発が進み、富士川町の表舞台になる日が目前。とても楽しみです。

・長い間町内に住んでいますがなかなかチャンスがなく今回参加できて良かったです。また、コースを変えて是非行ってください。

※他にもたくさんのご意見ご感想をいただきました。

平成22年国勢調査

10月1日が始まります



国勢調査はみんなで描く 日本の自画像

指導員。調査票を配布、回収する調査員は、各区長さんからご推薦いただいた方を町長が総務大臣に推薦し、その後、総務大臣が任命します。

指導員並びに調査員が、各家庭を訪問する際は、「国勢調査指導員証」または「国勢調査員証」、「国勢調査従事者用腕章」を身に付けて訪問します。訪問の際は、調査にご協力をお願いします。



●調査に答える義務はあるの？

国勢調査は「統計法」という法律に基づいて行なわれます。正確な統計を作るために、日本に住んでいるすべての人に、調査票の記入及び提出の義務（申告義務）があります。

●個人情報を守られるの？

国勢調査をはじめとする調査関係者には守秘義務があり、統計をつくる目的以外に調査票を使用することは禁じられています。また、調査票は外部の人の目にふれないよう厳重に保管されます。

『かたじけなく注意ください』

国勢調査指導員や国勢調査員をよそおった不審な訪問者や、不審な電話・電子メールなどにご注意ください。

また、国勢調査では、金品を請求することはありません。

不審に思った際には、回答しないで、町民生活課生活推進担当、または総務省国勢調査コールセンターまでお知らせください。

◆問い合わせ先

町民生活課生活推進担当

☎0556-22-7209

総務省国勢調査コールセンター

☎0570-01-2010（通話料は個人負担となります。）

今年の10月1日現在で、全国一斉に国勢調査が行なわれます。

今回の国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。

国や都道府県・市区町村の行政の基礎資料として、将来の町づくりなどにいかされます。

9月下旬から調査員が各家庭を訪問し、調査票をお配りします。記入いただいた調査票は、郵送、または、10月上旬に調査員による回収（封入提出）のどちらかを選択する方法により、提出していただきます。

国勢調査の重要性をご理解いただき、訪問の際は、ご協力をお願いします。

●国勢調査って何？

国勢調査は、法律に基づいて

●国勢調査はどのように行なわれるの？

国勢調査員が、9月下旬頃、皆さまの住まいを訪問して、調査票を配布しますので、記入をお願いします。

10月上旬頃に、国勢調査員が再度訪問いたしますので、記入していただいた調査票をご提出（封入提出）いただくか、郵送によりご提出ください。

●国勢調査の指導員・調査員はどんな人なの？

調査員の指導・助言などをす



【指導員・調査員 訪問時服装】

指導員証または調査員証

腕章

総務省国勢調査

コールセンターとは？

9月11日から10月31日まで「総務省」が開設している国勢調査専門の電話窓口です。（受付時間午前8時から午後9時まで）**土・日・祝日も開設**しておりますので、国勢調査に関する質問や不審な訪問者、不審な電話・電子メールなどがありましたら、ご連絡ください。

大地震に備えて！

知っていますか？ 災害情報の入手法

いつ大地震が来るのか。それが正確にわかることができれば、どんなに素晴らしいでしょう。

大地震を事前に察知して、私たちのものに情報が届く仕組みが、整いつつあります。

緊急地震速報で地震情報を事前にキャッチ！

緊急地震速報は、地震波が地表に到達して揺れが発生する前に皆さんに地震の発生をお知らせする地震予報・警報です。世界にも先例がない画期的なシステムです。

緊急地震速報は、地震予知情報ではありません
緊急地震速報は、地震の揺れが発生する前にお知らせする警報です。地震を予知してお知らせする情報ではありません。

緊急地震速報は、どうすれば手に入るの？

緊急地震速報は、テレビ、ラジオ、携帯電話、街頭スピーカーから入手が可能です。専用端末機を導入すると、直接、緊急地震速報を受信することができます。

◇テレビ・ラジオの場合

テレビでは、チャイム音が鳴り、震源と揺れが予測される地域を地図と文字で伝えます。ラジオでは、通常番組を中断し、チャイム音に続いて、テレビと同様の内容を音声で速報します。

◇携帯電話の場合

携帯電話各社より、緊急地震速報の配信が行われています。受信できる携帯電話や受信のための設定については、携帯電話各社へお問い合わせください。

◇専用端末機の場合

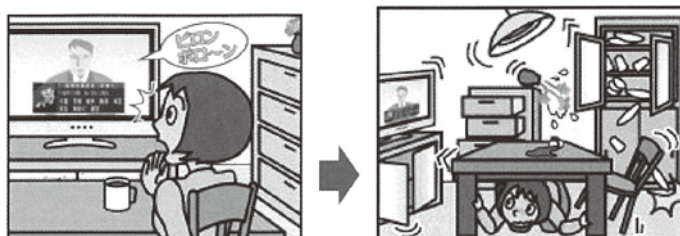
専用端末機を購入・設置することで、個人住宅・マンション、職場、学校、病院などで、揺れが発生するまでの猶予時間と揺れの規模を知ることができます。

緊急地震速報が出たら！どうしよう!?

緊急地震速報が出たら、一体なにをしなければならいのでしょうか。速報が出てから地震が起こるまでの時間はわずかです。その間に自分の身を守る行動を起こさなければなりません。

◆自宅で緊急地震速報を受信したら

出典：気象庁 HP



緊急地震速報を居間のテレビで見たら、テーブルの下にもぐって揺れに備えましょう。家具が転倒する可能性があります。テーブルの下にもぐれなければ、大きな家具から離れることです。



緊急地震速報を台所で受信したら、テーブルの下にもぐってください。コンロに火がついていても火を消しに行ってはいけません。

◆車を運転中に受信したら



車の運転中にラジオが緊急地震速報を受信したら、ハザードランプをつけて減速し、車を左側に寄せてください。ほかの車がラジオを聞いているとは限りません。急ブレーキを踏むことは避けてください。交通事故を起こす可能性があります。

◆電車で受信したら



緊急地震速報が出ると、電車は急停車します。車内で「急停止します」というアナウンスがあります。つり革や手すり にしっかりつかまってください。車内はパニックになりますので、「落ち着け!」と叫んでください。その声がパニックを防ぎます。